別紙２

令和５年度　顔の見える木材供給体制構築事業に係る

事業計画書

取組テーマ

|  |
| --- |
|  |

１．取組の背景と目的

|  |
| --- |
|  |

２．対象とする木材・木製品及び川上から川下までの流通の考え方

|  |
| --- |
| ・本事業で取り上げる木材供給体制・流通の考え方  ・木材製品についての概要や特徴  などについて具体的に記載してください。 |

３．事業内容（取組の内容や課題解決の方法をできるだけ詳細に記載）

|  |
| --- |
| ・実施期間を通しての工程、スケジュール  ・本取組の各種事務、進行管理、指導監督等を実施するためのそれぞれの実施体制・人員及び成果の普及方法等  ・森林経営の持続性確保に向けた取組の検討 |

４．取組体制

　（１）実施主体者

　　（組織名、代表者名）

|  |
| --- |
|  |

　（２）事務局員（氏名/事務局内での役割/所属組織/役職）

（技術者給の対象となるすべての従事者を記載）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 事務局での役割 | 所属組織 | 役職 |
|  | （事務局長） |  |  |
|  | （経理担当） |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

　（３）実施団体

|  |
| --- |
|  |

（４）協力者（事業者、団体）

|  |
| --- |
|  |

　（５）地方自治体との協力関係

|  |
| --- |
|  |

５．予想される取組の効果及び本助成事業終了後の中期的な取組

（本取組を実施することで得られるであろうと考える効果及び本助成事業終了後の中期的な取組を

具体的に記載）

|  |
| --- |
|  |

６．本事業実施に必要な予算

　経費の配分

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | 事業費  （Ａ）＋（Ｂ） | 経費の内訳 | | 摘要 |
| 国庫助成金  （Ａ） | 自己負担金（Ｂ） |
|  |  |  |  | （例）  技術者給　〇〇〇円  賃金　　　〇〇〇円  謝金　　　〇〇〇円  旅費　　　〇〇〇円  需用費　　〇〇〇円  役務費　　〇〇〇円  使用料および賃借料  　　　　　〇〇〇円 |
|  |  |  |  | 技術者給　〇〇〇円  賃金　　　〇〇〇円  謝金　　　〇〇〇円  旅費　　　〇〇〇円  需用費　　〇〇〇円  役務費　　〇〇〇円  使用料および賃借料  　　　　　〇〇〇円 |
|  |  |  |  | 技術者給　〇〇〇円  賃金　　　〇〇〇円  謝金　　　〇〇〇円  旅費　　　〇〇〇円  需用費　　〇〇〇円  役務費　　〇〇〇円  使用料および賃借料  　　　　　〇〇〇円 |
| 計 |  |  |  |  |

1. 摘要欄には、助成金交付規程の「別紙」助成対象経費の科目毎の金額を記載してください。

人件費の算定については、「補助事業等の実施に要する人件費の算定等の適正化について」（平成22年9月27日22経第960号　大臣官房経理課長）を参照して下さい。

1. 見積もり、過去の実績など積算根拠となる資料を提出していただくことがあります。
2. 実施項目の欄は、適宜追加して下さい。

７．同種事業の経験・実績等

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の名称 |  |
| 実施年度 |  |
| 応募先機関 |  |
| 助成の金額 |  |
| 事業の内容 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の名称 |  |
| 実施年度 |  |
| 応募先機関 |  |
| 助成の金額 |  |
| 事業の内容 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の名称 |  |
| 実施年度 |  |
| 応募先機関 |  |
| 助成の金額 |  |
| 事業の内容 |  |

|  |
| --- |
| 以下、適宜追加してください。 |

８．定款、寄附行為、役員名簿、団体の事業計画書・報告書、収支計算書、パンフレット等

別添

技術者給算出表

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 従事者  氏名 | 所　属  役職名 | 従事業務内容 | 1時間当たり単価  (A) | 従事時間  (B) | 助成対象経費  (A)×(B) | 備　考 |
| ○○○ | | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| ○○○ | | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| ○○○ | | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 計 | | | | |  |  |

各々の取組毎に記載下さい。

技術者給の単価は下記の計算式により算出された従事者ごとの単価と、１円未満を切り捨てし、１円単位としてください。

①基本給相当額＋②諸手当＋③賞与相当額＋④事業主負担額

　　　　　　　　　　　　年間稼働日数

①基本給相当額：時間外手当、休日及び深夜の労働についての割り増しは含めません。

②諸手当：役職、通勤、住宅、家族、資格などその他

③賞与相当額

④事業主負担額：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、介護保険、児童手当

⑤年間稼働日数：３６５日－(土・日＋祝日＋年始年末休暇)

　　　　　　　　就業規則で定めた年間就労日数で、有給休暇は含まない